

優秀賞（小学校高学年部門）

「大人になったらこうなってほしい！和歌山！」

和歌山大学教育学部附属小学校 五年 大峯 寧々

今、「二千二十四年の良いところは？」と聞かれると、自然が多い、人が優しい、住みやすい、食べ物おいしいところだと思います。二千四十年も、そのまま二千二十四年の現在の良い所と同じがいいと思います。前に、お母さんから「変わらないことも、難しいんだよ。」と言っていたので、難しいかもしれません、そのまんま今の良い所を同じにして変わらない和歌山がいいと私は思いました。

まず、自然。今の時期は、毎年おじいちゃんとメダカとりをします。自然のメダカは少ないとききました。けれど家の近くでは、たくさんとれます。去年は、五十ぴきぐらいとれました。二千四十年でも、メダカが、とれるために、キレイな水にしたいからこそ、ゴミを入れないなど気をつけたいと思います。次に人がやさしい所。近所の人たちと、あいさつしたり困っている人たちに声をかけたり席をゆずってあげるなど、今とかわらない付き合いを心がけていきたいと思いました。

そして最後に、住みやすい所。大阪に行けばキラキラしていて、人も多くて、流行りの物もうっています。正直和歌山にないものもあります。大阪は好きです。けれど、住むにはちょっとつかれてしまいます。だから、住むには、やっぱり「和歌山」がいいと思います。旅行から帰ってきててもやっぱり「和歌山が一番！」と感じます。だから、かわらない和歌山でいてほしいと思いました。